

中学部 3 年 D グループ 学習指導案

大阪府立和泉支援学校

〒1 中富 玲

1. 日時 令和 6 年 9 月 19 日 (木) 第 2 時限 (13:20 ~ 14:10)
2. 場所 第 3 学年 教室 つばき
3. 学部・学年・グループ 中学部 第 3 学年 D グループ
4. 単元 (題材) 名 「外国の文化について調べたことを発表しよう」
5. 単元 (題材) 目標

知識及び技能

- ・身近なところに外国の文化が関わっていることを知る。

思考、判断、表現等

- ・検索サイトの特徴を理解し、複数の情報に触れ比較することで適切に調べることができる。

学びに向かう力、人間性等

- ・自発的に学習のテーマや目標を選択し調べたことを発表することができる。
- ・友だちの発表を集中して聞き記録したことをもとに発表を振り返ることができる。
- ・友だちの発表を集中して聞き質問をすることができる。

<和泉支援学校キャリアプランニングマトリックス>

- ・社会へ [情報への関心] 3 段階① 社会の様々な情報に触れ、興味・関心をもつ。

6. 生徒観

本グループは、生徒 7 名で学習している。教員からの問いかけに対して、積極的に自分の意見を発表できる生徒がいる一方、発言を促す等の適宜教員からの適切なサポートが必要な生徒がいる。授業では活発な意見発表が見られるが、発言する生徒に偏りが見られるため、どの生徒も授業に参加できるよう配慮する必要がある。

ウェブ検索を使った調べ学習については自発的に調べ学習を進めていくことができる生徒がいる一方で、検索ワードに何を入力すればよいか分からず作業が止まってしまう生徒がいるなど、「調べる」力に大きな差がみられる。また、話を聞くことが苦手で、指示が聞けずに活動が遅れる生徒や友だちに率直に話をし過ぎてトラブルになる生徒など自立活動においても課題がみられる。

今回の単元である外国の調べ学習については、調べてまとめる力だけでなく、基礎知識に大きな差がみられる。

7. 教材観

①調べ学習を行った理由

新たな情報に対してどのように調べれば目的の情報にたどり着けるのか、本授業を通して知り体験することがねらいである。ウェブ検索は調べ方が単純で取り組みやすい課題であると考えた。また、検索の上位に知りたいことが必ずしも現れないこともあるため、試行錯誤しながら自分の知りたいことを探す練習にもなる。色々な情報に触れ、自分で情報を探すことの大切さに気づいてもらいたい。

②イギリスを選んだ理由

イギリスは、日本との関りが深いため、親しみやすいテーマが豊富にあった。生徒にとってより身近で内容を理解しやすく、調べ学習への抵抗が少ない題材であると考えた。自分の生活とイギリスとの間に関連があると感じてもらいたい。

③生徒の個別の学習活動の設定

授業の活動を「発表する」「質問する」「内容を振り返る」の3つに分け、生徒の実態に合わせて個別に目標を設定し、課題に応じた活動ができるようにする。

8. 指導観

主体的な学び 活動に興味を持って取り組む。見通しを持つ。振り返る。

・テーマを各生徒の興味のある分野、もしくはよく知っている分野に絞ることで、スムーズに調べ学習を行うことができ、調べ学習に苦手意識がある生徒が安心して、興味を持って学習することができると考えた。

・授業で学んだことや発表を見て感じたことを振り返り、言葉にすることで語彙力の育成につながると考えている。

対話的で深い学び 互いの考えを比較する。自分の考えをまとめる。

・友だちの発表を聞き、質問の内容を考えることを通して、友だちの意見を知ろうとする態度を養う。また、気づいたことをまとめ相手に伝える経験を積む。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 音楽や映画など多くの分野にわたって外国の文化が日本にあることを知ろうとしている。	① 音楽や映画などの複数のテーマから興味ある分野を選択し、調べようとしている。	① 音楽や映画などの複数のテーマから興味ある分野を選択し、調べようとしている。
② 目的の情報を得るための適切な調べ方を知っている。	② 友だちの発表を集中して聞き、内容をまとめようとしている。	② 検索ワードを変えながら、試行錯誤することで、テーマに沿った情報収集をしようとしている。
③ テーマに沿った情報収集をするための検索ワードの調節の仕方を知っている。	③ 友だちの発表について、質問内容や感想を考え、発表者に伝えようとしている。	③ 調べた内容を簡潔にまとめて、わかりやすく発表しようとしている

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全8時間、本時は第7時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規 準 (評価 方法)
1	1 時 間	・日本とイギリスの関係について知ろう	・単元を見通し、めあてを知る。 ・イギリスの文化に興味を持つ。	・クイズをきっかけに、生徒がイギリスの文化が日本でも身近であることを知ることができるよう工夫する。	A①
	1 時 間	・イギリスについて知ろう	・単元を見通し、めあてを知る。 ・イギリスの文化に興味をもつ。	・生徒がイギリスの文化に興味をもつことができるようクイズ形式にする。	A①②
2	3 時 間	・イギリスについて調べよう	・イギリスについてテーマを決める。 ・タブレット端末を利用して、調べ学習をする。 ・調べて分かったことを文章にして、まとめる。	・テーマを複数用意する。取り組んでみたいテーマを生徒が選択できるように支援する。 ・タブレット端末の操作で時間がかからないように机間巡視しながら適宜フォローする。 ・待っている生徒がでないように、待ち時間用の課題(プリント)を用意する。 ・調べ学習の進度に差があるため、早く終わった生徒には複数テーマで調べ学習をするように指示する。	B① C ①②③
	1 時 間	・分かったことを発表しよう	・調べて分かったことを発表する。 ・友だちの発表を聞いて、メモをとる。 ・友だちの発表の後に、質問をする。	・リラックスして発表や質問をすることができるように、事前に原稿をつくり、練習する。 ・記録するときに、キーワードを聞き逃さないように、記録用紙を用意して事前に練習する。	B②③
	1 時 間 本 時	・分かったことまとめる。	・新聞のタイトルを考える。 ・発表者の原稿を振り返り、新聞のサブタイトルをつける。 ・記事の場所を考える。 ・記事の下書きをする。 ・記事の清書をする。	・発表内容をふりかえり、内容を要約できるように支援する。 ・新聞のサイズを指定して、どの位置にどれだけの文章や絵がかけられるか見通しを示す。	B②

I 時 間	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を製作する。 ・新聞を掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿にあう画像を調べる。 ・記事に挿入するイラストをかく。 ・新聞を製作する。 ・新聞を掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貼り付ける前に記事やイラストを台紙に並べて全体のバランスをチェックする。 	B②
-------------	--	---	---	----

II. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・調べて分かったことを他の人にわかりやすく伝える方法を考え、自信をもって発表することができる。

(2) 本時の評価規準

- ・調べ学習で分かった事柄を分かりやすく発表することができる。

(3) 本時で扱う教材・教具

- ・タブレット端末
- ・記録・振り返り原稿の様式(「友だちの発表を記録しよう」)
- ・発表用原稿の様式
- ・質問用原稿の様式
- ・課題プリント①(イギリスの都市を調べよう)
- ・課題プリント②(イギリスの都市名を書こう)
- ・視覚支援教材プリント(「誠実な答え方」)
- ・テレビ、接続コネクター

(4) 児童生徒の実態と本時の目標

※省略※

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
10分 導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・前回の復習 ・めあてを伝える ・授業の流れを説明する 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを視覚的に提示する。 ・発表や質問をするときの注意点を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを理解している。 ・授業の流れを理解している。
30分 展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・発表① A、Eの共同発表。(8分) 「イギリスポップスのヒットチャートとダンス発表」 Aが音楽の歌手と曲名を紹介する。 Eが当該曲について詳細発表する。 Aの合図とともに曲を流し、二人が曲に合わせて踊る。 ・発表② Cの発表。(5分) 「イギリスのアニメについて」 ・発表③ Dの発表。(5分) ・Fから印象に残った発表と発表者への質問をする(3分) ・Gから印象に残った発表と発表者への質問をする(3分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表中、Aが教員に依頼をするタイミングと依頼の方法を確認し、事前に練習する。 ・発表の流れを教員とともに確認し、事前に練習する。 ・生徒が発表者に注目して話を聞くことができるように促す。 ・質問や感想を考えるため、発表中メモをとるように伝える。 ・発表を記録するための様式を用意する。 ・Dへの質問がない場合は教員から質問する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアの友だちと協力し、適切なタイミングで発表や依頼をすることができる。C③ ・友だちが発表しているときに、集中して聞くことができる。B② ・発表内容を振り返り、発表者に質問をしたり、感想を伝えたりすることができる。B③ ・質問に対して、発表者が丁寧に答えることができる。B③
10分 ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・Bから印象に残った発表と感想を発表する。(4分) ・教員から授業の振り返りとまとめを話す。(5分) ・あいさつをする。(1分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・展開時にBが記録した用紙をもとに、授業の内容を振り返り、感想を伝えることができるように支援する。 ・生徒が達成することができたことを振り返り、ほめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを見ながら、授業の振り返りをするすることができる。

(6) 教室配置等（正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す）

